

2015年1月21日

お客様各位

日興アセットマネジメント株式会社

## 「高金利成長通貨ファンド(毎月分配型)／愛称:インカムグロース」 分配金のお知らせと投資通貨の変更について

平素は弊社投資信託に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご愛顧いただいております「高金利成長通貨ファンド(毎月分配型)／愛称:インカムグロース」は、2015年1月20日に決算を迎えました。

当ファンドは、毎月安定した収益分配をめざすという方針のもと、分配金額を1万口当たり100円(税引前)としてまいりましたが、当期決算において、基準価額水準や、分配金額抑制によりファンドに留保される資金の再投資効果などを総合的に勘案し、分配金額を60円(同)に引き下げることと致しました。

また、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「インカム&グロース・カレンシーファンドクラスA」は、2015年1月上旬にオーストラリアドルを売却し、新たにインドルピーおよびトルコリラを組み入れましたのでご報告いたします。

次ページ以降では、当ファンドを取り巻く最近の市場環境や、今後の見通しなどについて説明しておりますので、ご一読いただければ幸いです。

今後とも、「インカムグロース」をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 「インカムグロース」の分配金について

今回(2015年1月)の分配金 (税引前、1万口当たり)	60円
前回(2014年12月)の分配金 (税引前、1万口当たり)	100円
2015年1月20日現在の基準価額 (税引前分配金控除後、1万口当たり)	6,220円

※ 毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。ただし、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や、分配を行なわない場合があります。

※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資家の皆様に「高金利成長通貨ファンド(毎月分配型)／愛称:インカムグロース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 分配金の引き下げについて

当ファンドは、国際経済・金融システム上、重要とみられる国や地域\*の通貨を投資対象とした上で、金利水準および通貨価値の成長性などを勘案して投資通貨を厳選し、当該通貨国の最上級の格付を有する短期のソブリン債券に投資を行ないます。

足元では、為替市場の円安傾向や、世界的な低金利環境において投資通貨の相対的に高い金利水準が選好されたことなどを背景に、ファンドは堅調な推移となりました。高金利成長通貨にとって、今後も良好な市場環境が見込まれるなか、足元の基準価額の状況などから、分配金額を減額し、ファンドに留まる資産を増やすことで、再投資効果を高めることなどをめざし、この度分配金を引き下げることに致しました。

\* 2014年12月末現在、投資対象国はG20の構成国・地域としています。

### 基準価額の推移



※ 基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

### 分配金の推移(税引前、1万口当たり)

(2015年1月20日現在)

2010年10月～ 2011年3月	2011年4月～ 2012年6月	2012年7月～ 2014年12月	2015年1月	直近1年間 累計	設定来 累計
100円/月	140円/月	100円/月	60円	1,160円	5,760円

※ 毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。ただし、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や、分配を行わない場合があります。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資家の皆様に「高金利成長通貨ファンド(毎月分配型)／愛称:インカムグロース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

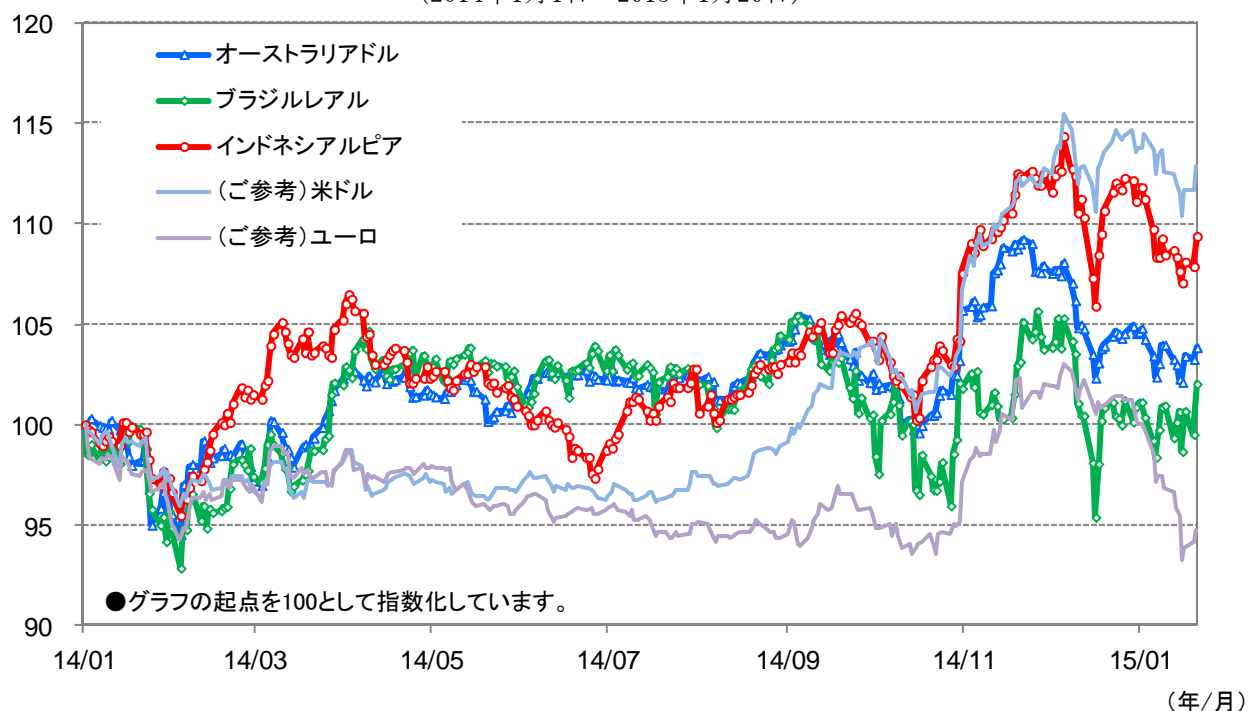
【ご参考】 2014年の市況概況

2014年において、主要先進国の金利水準は総じて低下傾向となりました。日本では10月末に追加緩和が決定され、ユーロ圏でも量的緩和観測が高まるなど、日欧の金利水準が低下しました。米国については、量的緩和に伴う資産買入れの縮小・終了を迎え、金利の先高観が台頭したものの、米国債の相対的に高い利回りに注目が集まったことで米国国債の利回りも低下しました。一方でインフレの抑制、通貨の安定などをめざし、一部の新興国では利上げが実施されました。

為替相場については、8月下旬以降、米国の早期利上げ観測の台頭に伴って米ドル高・円安傾向が強まりましたが、10月末に日銀による追加緩和の決定が発表されると強力な円の先安観が広がり、円は主要通貨に対して大きく下落しました。一方で11月以降は原油やコモディティ価格の下落が勢いを増したことから、資源国の通貨は軟調な動きとなりました。

【ご参考】 為替の推移(対円)

(2014年1月1日～2015年1月20日)



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

- ※ 上記グラフでは、2014年12月末現在の当ファンドの投資通貨の推移を示しています。
- ※ 上記は過去のものであり、記載通貨の将来の組み入れや運用成果等を約束するものでも、当該通貨を推奨するものでもありません。

## 投資通貨の変更

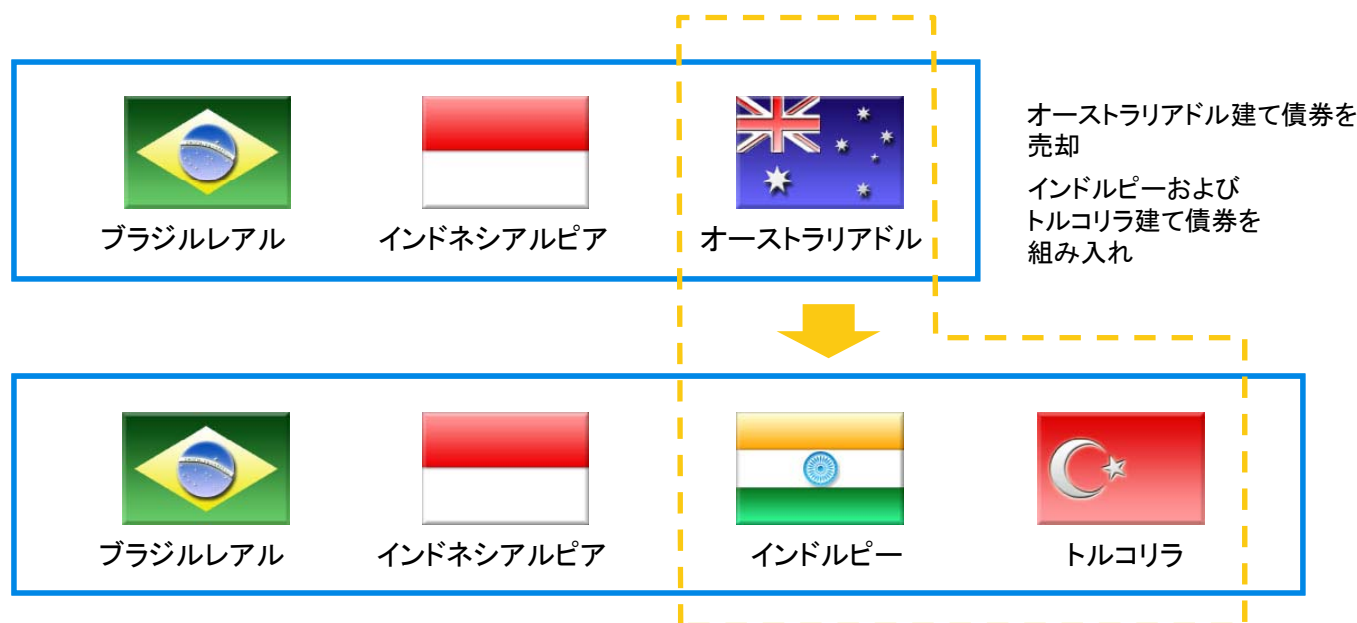
当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「インカム&グロース・カレンシーファンド クラスA」は、世界の景気見通しの変化を踏まえ、2015年1月上旬にオーストラリアドル建て債券を売却し、新たにインドルピーおよびトルコリラ建て債券を組み入れました。

投資通貨の変更にあたっては、各国の金融政策の方向性やファンダメンタルズなどを踏まえ、総合的な投資魅力度を勘案して判断しました。また、分散投資効果を向上させるために、投資通貨をこれまでの3通貨から4通貨へと変更しました。

今回新たに投資対象となるインドおよびトルコは原油の輸入量が大きく、世界的な原油価格急落の恩恵を比較的大きく受けると考えられます。両国では交易条件の改善やインフレ率の低下、経済成長の押し上げなどが期待されており、中期的に魅力が高い通貨であると考えられます。

一方でオーストラリアでは、景気の回復スピードが予想を下回っているほか、政策金利がすでに歴史的な低水準にあるなかで、中央銀行に対する利下げ圧力が高まっていること、また主力輸出品目である鉄鉱石価格の大幅下落などが懸念材料であると考えられます。

これらの状況を総合的に勘案し、インドルピーおよびトルコリラがより魅力度が高いと判断しました。



※ 当ファンドの投資通貨は将来変更となる場合があります。

新たに組み入れた通貨について①

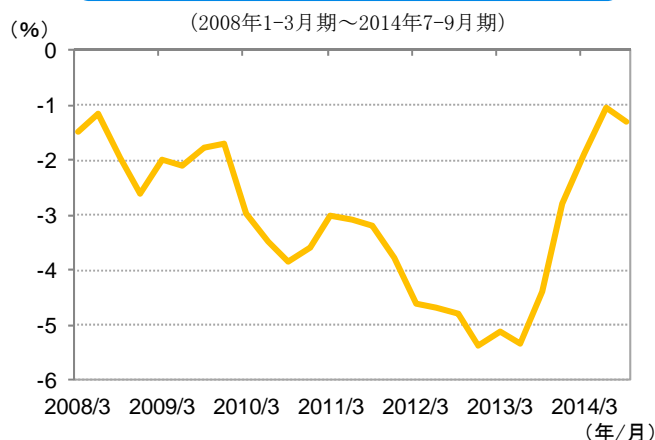


インドルピー

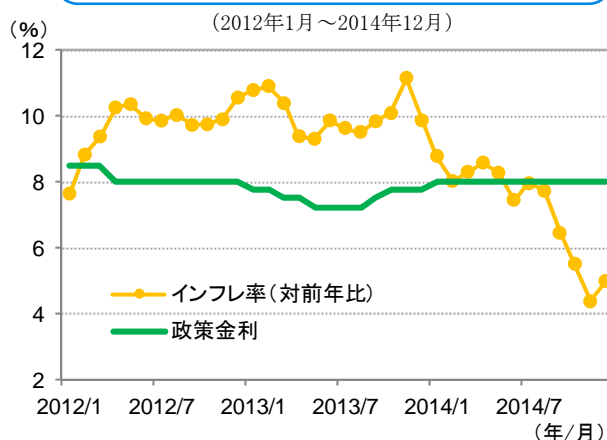
新政権による改革と原油価格の下落により潜在成長力の大幅上昇が期待される

- インド政府が貿易収支の改善に向けて様々な施策を講じたことから、2014年のインドの経常赤字は、対GDP比5%超から同2%未満まで低下するなど、すでに大幅な改善をみせています。世界的な原油価格の下落を受けてインドの経常赤字はさらに改善すると見られ、対GDP比1%未満になるものと予想されます。
- また、インド政府は原油価格の下落に乗じて、議論を呼んでいた燃料補助金制度の一部撤廃を行いました。燃料補助金は、政府が提供する合計約2.6兆インドルピー（約4.9兆円\*）の補助金の4分の1程度を占めていました。この削減によってインドの財政見通しが大幅に改善することから、政府は、これまで強く必要とされてきたインフラ支出に、資金をより柔軟に振り分けることができると考えられます。  
\*1インドルピー=1.896円にて円換算（2014年12月末現在）
- 新政権は引き続き多岐にわたる改革法案を施行しており、ミクロ面の様々な改革の実施を通じて経済成長と投資が促進されると予想されます。国内セクターが徐々に対外開放されており、外国人に投資の門戸が開かれているほか、煩雑であった手続きの簡略化や、ビジネス環境の改善に力点が置かれていることから、インドの中期的な潜在成長力が大きく押し上げられると見ています。

経常収支(対GDP比)の推移



政策金利とインフレ率(対前年比)の推移



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

上記は、当ファンドの主要投資対象「インカム&グロース・カレンシーファンド クラスA」の運用会社である、日興アセットマネジメントヨーロッパ リミテッドからのコメントをもとに作成しています。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資家の皆様に「高金利成長通貨ファンド(毎月分配型)／愛称:インカムグロース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



新たに組み入れた通貨について②

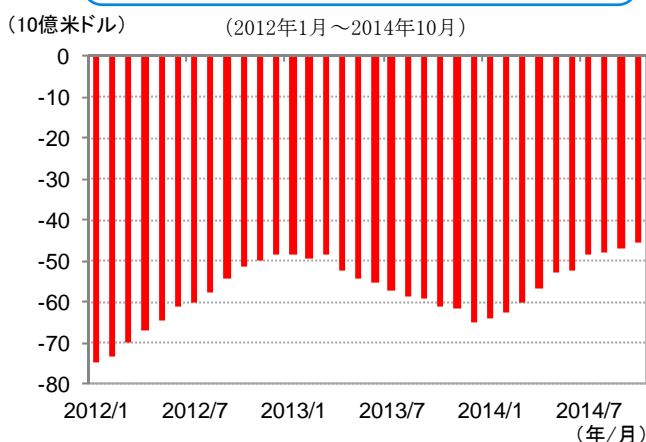


トルコリラ

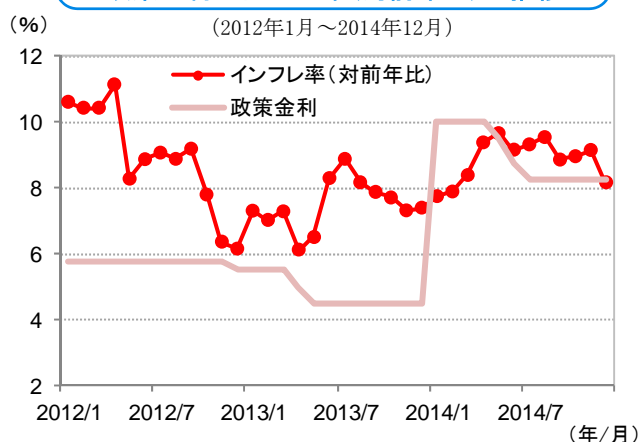
原油価格の下落により経常赤字の改善やインフレの抑制が期待される

- 2014年は金融引き締め策の実施にもかかわらず、経済活動が比較的堅調な推移を続けたことから、GDP成長率(前年比)は3%をやや上回るものと予測されます。さらに2015年は、金利の低下によって家計消費が押し上げられ、GDP成長率が4%近くまで上昇する見込みです。中期的にみると、若年層が多いという人口構成面の恩恵も大きいと考えられ、トルコには年平均5%を超える経済成長を遂げる余地があると考えられます。
- 以前は対外収支において大幅な赤字に悩まされており、またその大部分が証券投資の流入によって賄われていたことから、市場センチメントの影響を受けやすい点が構造上の大きな問題となっていました。しかし足元では、対ユーロ圏貿易の拡大や観光収入の改善を受けて経常収支が大幅に改善しており、更に今後は原油価格の急落を受けて原油輸入額が大きく減少し、経常収支が一段と改善することが見込まれます。
- また、原油価格の下落はインフレの抑制にも好影響を及ぼしており、今後数カ月のうちに金融緩和が実施される可能性が出てきています。そのため、トルコのソブリン債券を保有することでリターンの享受が期待されます。
- 通貨についてみると、債券市場への資金流入、日々の為替介入、依然として高い金利水準を背景に、トルコリラは足元で安定的な推移が期待できると考えます。

経常収支の推移(12ヵ月累計)



政策金利とインフレ率(対前年比)の推移



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

上記は、当ファンドの主要投資対象「インカム&グロース・カレンシーファンド クラスA」の運用会社である、日興アセットマネジメントヨーロッパ リミテッドからのコメントをもとに作成しています。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資家の皆様に「高金利成長通貨ファンド(毎月分配型)／愛称:インカムグロース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## その他の投資通貨の見通し



## ブラジルリアル

新内閣への信頼感の高まりと相対的に高い金利水準が追い風に

- 足元では、ブラジルへの直接投資や証券投資の流入額が経常赤字額を十分に上回るなど、資本フローが例年よりもブラジルリアルの追い風となっています。
- 新内閣の経済閣僚人事にはそうそうたる顔ぶれが揃えられており、ブラジル経済の信認を取り戻す取り組みが期待されます。当初に発表された経済政策案は、すでに市場で好感されつつあり、さらなる政策発表が行なわれていくなかで、そうした好調な市況が継続するものと予想されます。ブラジルの中期的な見通しに対する信頼感の高まりが追い風となり、直接投資の流入額が高水準で推移し続けることが期待されます。
- 中央銀行は、インフレの抑制や市場からの信認の強化を目指し、2014年12月には政策金利を11.75%に引き上げています。今後も追加利上げが予想されるなか、極めて高い金利水準が証券投資を呼び込むものとみられます。



## インドネシアルピア

原油価格の下落を背景とした燃料補助金の削減が財政見通しを大幅に改善

- 2014年には、大統領選挙において市場の支持を集めるジョコ・ウィドド氏が勝利し、一連の改革に着手しました。2013年にインドネシアが貿易赤字に転じて以降、政府は、貿易収支を再び黒字に転換させるべく、輸出動向の改善に向けて取り組んでいます。
- 昨年の燃料補助金の削減に引き続き、政府は2015年1月1日に、世界的な原油価格の急落を背景としてガソリン用の燃料補助金を廃止したほか、軽油用の補助金に支給上限を設定しました。これにより、2015年の政府支出は230兆ルピア（約2.2兆円\*）削減されることとなり、そのうち60%程度がインフラ支出に割り当てられる見通しです。

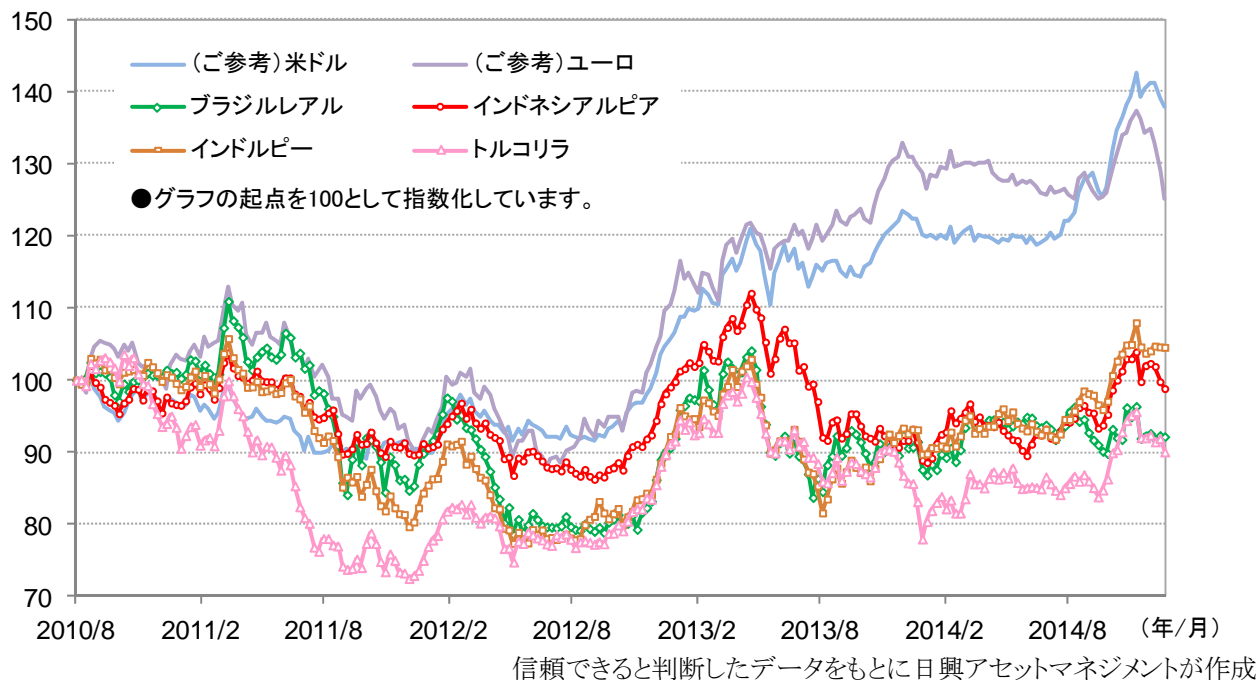
\*1インドネシアルピア=0.00963円にて円換算(2014年12月末現在)

- 産油国ではあるものの、現在は原油を輸入に頼るインドネシアでは、これら補助金の削減によって経済成長と財政の見通しが大幅に改善しています。現時点では、2015年の財政赤字がGDP比2%未満に収まると見えています。

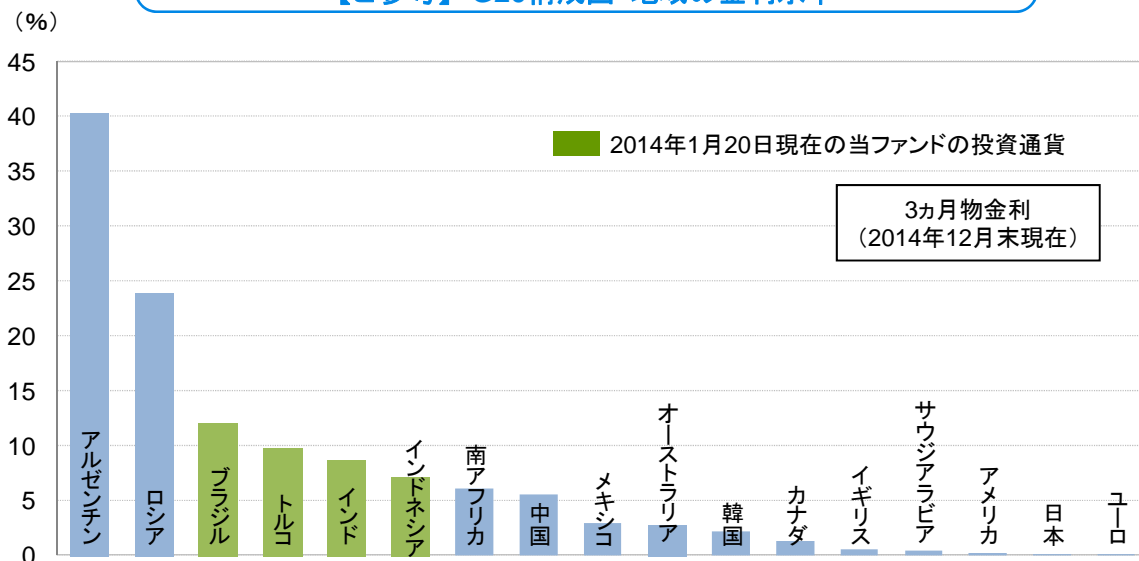
上記は、当ファンドの主要投資対象「インカム&グロース・カレンシーファンド クラスA」の運用会社である、日興アセットマネジメントヨーロッパ リミテッドからのコメントをもとに作成しています。

【ご参考】為替の推移(対円)

(週次:2010年8月27日(設定週)～2015年1月16日)



【ご参考】G20構成国・地域の金利水準



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 当ファンドの投資通貨は将来変更となる場合があります。  
 ※ 上記は過去のものであり、記載通貨の将来の組み入れや運用成果等を約束するものでも、当該通貨を推奨するものでもありません。

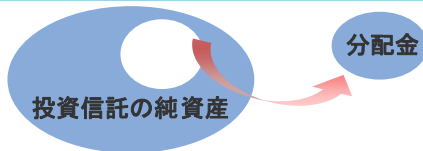
■当資料は、投資家の皆様に「高金利成長通貨ファンド(毎月分配型)／愛称:インカムグロース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



## 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

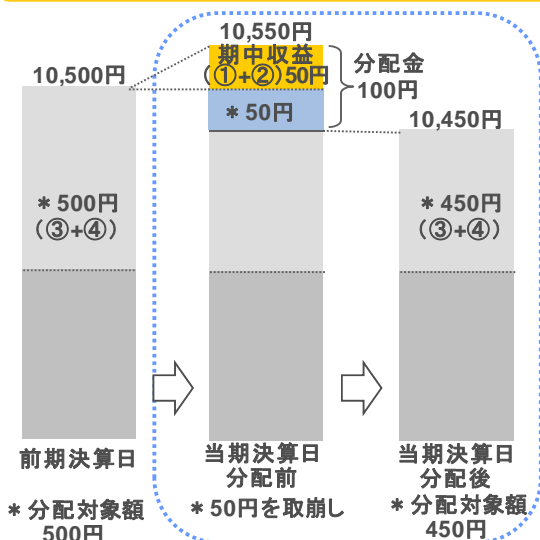
### 投資信託で分配金が支払われるイメージ



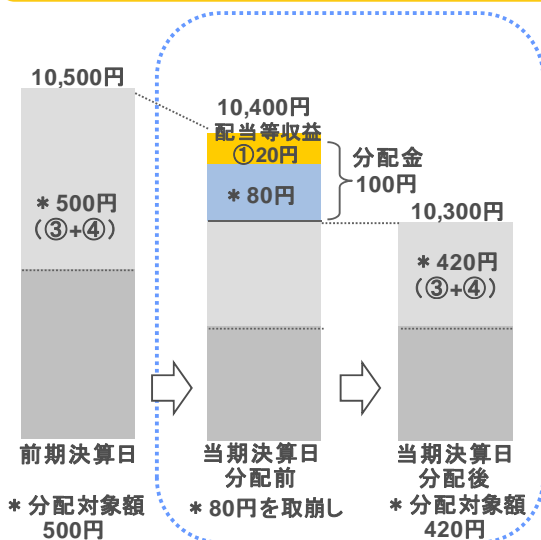
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

#### 前期決算から基準価額が上昇した場合



#### 前期決算から基準価額が下落した場合

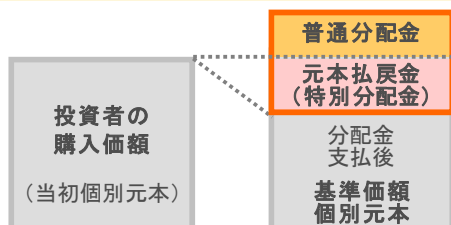


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

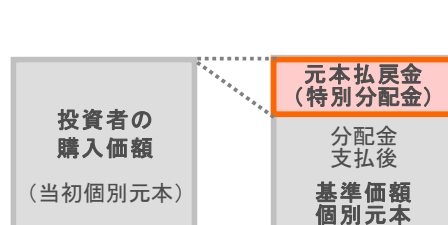
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

- 普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
- 元本払戻金(特別分配金) : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

## ■お申込みに際しての留意事項

## 「リスク情報」

- 投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。
- 当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。
- 投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

## 【価格変動リスク】

- 公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。

## 【流動性リスク】

- 市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- 新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

## 【信用リスク】

- 公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト(債務不履行)が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。

## 【為替変動リスク】

- 外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- 新興国通貨建ての債券は、新興国の通貨の為替変動に影響を受けます。一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

(次ページに続く)

(前ページより続く)

## 【カントリー・リスク】

- 投資対象国における非常事態など(金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など)を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- 一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

※ ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

## 「その他の留意事項」

- 当資料は、投資者の皆様へ「高金利成長通貨ファンド(毎月分配型)／愛称:インカムグロース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

## ■お申込メモ

- 商品分類 : 追加型投信／内外／債券
- ご購入単位 : 購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
- ご購入価額 : 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- ご購入不可日 : 購入申込日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、購入のお申込みの受付は行ないません。  
詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 信託期間 : 2020年7月21日まで(2010年8月31日設定)
- 決算日 : 毎月20日(休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配 : 毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。  
※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- ご換金価額 : 換金請求受付日の翌営業日の基準価額
- ご換金不可日 : 換金請求日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、換金請求の受付は行ないません。  
詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い: 原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
- 課税関係 : 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。  
※ 課税上は、株式投資信託として取り扱われます。  
※ 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。  
※ 配当控除の適用はありません。  
※ 益金不算入制度は適用されません。

## ■手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料 : 購入時手数料率は、3.24%(税抜3.0%)を上限として販売会社が定める率とします。  
※ 分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

《ご参考》

(金額指定で購入する場合)

購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額(お支払いいただく金額)となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料(税込)をいただきますので、100万円全額が当ファンドの購入金額とはなりません。

(口数指定で購入する場合)

例えば、基準価額10,000円のときに、購入時手数料率3.24%(税込)で、100万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。

購入金額 = (10,000円 / 1万口) × 100万口 = 100万円、購入時手数料 = 購入金額(100万円) × 3.24%(税込) = 32,400円となり、購入金額に購入時手数料を加えた合計額103万2,400円をお支払いいただくこととなります。

換金手数料 : ありません。

信託財産留保額 : ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬 : 純資産総額に対して、年率1.2172%(税抜1.15%)程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。

信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率0.9072%(税抜0.84%)、投資対象とする「インカム&グロース・カレンシーファンド クラスA」の組入れに係る信託報酬率が年率0.31%程度となります。

受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。

その他費用 : 目論見書などの作成・交付にかかる費用および監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。

※ 組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。



■委託会社、その他関係法人

委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号  
 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、  
 日本証券業協会

受託会社 : 三井住友信託銀行株式会社  
 (再信託受託会社: 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)

販売会社 : 販売会社については、下記にお問い合わせください。  
 日興アセットマネジメント株式会社  
 [ホームページ] <http://www.nikkoam.com/>  
 [コールセンター] 0120-25-1404  
 (午前9時～午後5時。土、日、祝・休日を除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	
株式会社京都銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
株式会社新生銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○		○	

(50音順、資料作成日現在)